

🎔 ひろげよう こころのネットワーク

Occember 2019 (年和庆)



兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 兵庫県マスコット はばタン

12月号には、音声コードを印刷してい ます。専用の読み上げ装置で読み取る と、「きずな」の内容を音声で聞くこと

ひょうご人権ジャーナル

KIZUNA

2 グラフで見る障害のある人の人権

社会参加で輝く

INDEX

日置 有紀さん(ファッションモデル)

障害のある人を取り巻く現状と課題、 今後の方向性

谷口 泰司さん(関西福祉大学社会福祉学部 教授)

障害者が安心して暮らすための住まいの 確保

糟谷 佐紀さん(神戸学院大学社会リハビリテーション学科 教授)

6 須磨ユニバーサルビーチプロジェクトを 通して考える『権利』と『責任』

木戸 俊介さん(NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 代表)

拉致被害の解決に向けて 大矢卓志さん(一般社団法人日本ブルーリボンの会代表理事)

情報ぷらざ

12月4日~10日は人権週間です。

Photo 豊岡市 城崎温泉

特集 障害のある人

障害のある人を含む全ての人々が、地域社会の中で共 に主体的に生活し、自立と社会参加ができる平等な社会づ

くりに向けてさまざまな取り組みが進められています。しかし、障害のある人への偏見や差別、まちづくりへの配慮の不足など、障害のある人の人権に関わる課題も残っています。

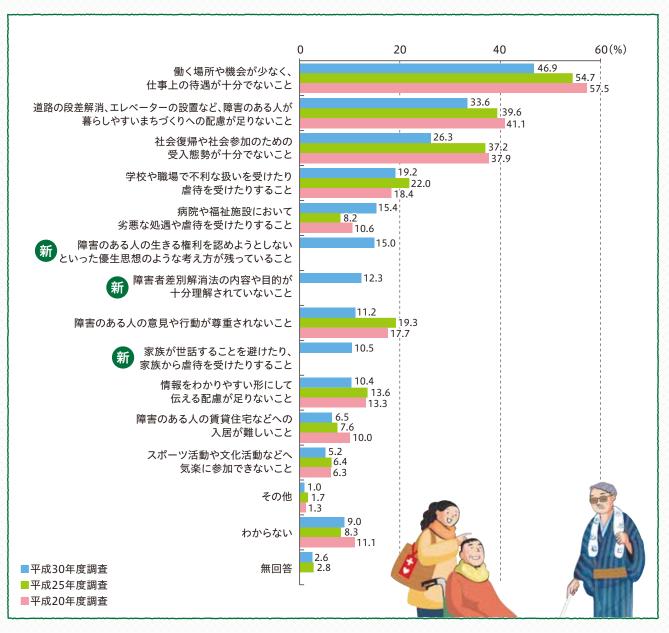
本号では、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らし、互いの人格と個性を尊重し 合うことのできる共生社会の実現について考えてみましょう。_____



グラフで見る障害のある人の人権

平成30年度 人権に関する県民意識調査の結果より

障害のある人に関することで、人権上、あなたが特に問題があると 思われるのはどのようなことですか。(Olt3つまで)



兵庫県が昨年度実施した人権に関する県民意識調査の結果を見ると、障害のある人に関することで県民の皆さんが特に問題があると思うことは、「働く場所や機会が少なく、仕事上の待遇が十分でないこと」が46.9%で最も高く、次いで「道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすいまちづくりへの配慮が足りないこと」(33.6%)、「社会復帰や社会参加のための受入態勢が十分でないこと」(26.3%)となっています。



Profile

1989(平成元)年兵庫県生まれ。 18歳の時に脊髄の病気を発症 し、首から下の麻痺となり車椅子 生活に。2008(平成20)年にモデ ルをしたことを機に、活動を開始。 現在は、テレビや映画など活動の 場を広げ、障害のある人向けのレ インコートなどの商品プロデュー スも手掛ける。



社会参加で輝く

ッションモデル 日置 有紀 さん

り戸惑ったりしたことは椅子を使用し始めた当初、悩んだ

慣れない車椅子生活に悩みましたし、今まで当たり前じゃなくなり、家の中でも外でもバリアが多く、戸惑いながらの生活でした。道路の斜面で車椅子がまっすぐ進まなかったり、数センチの段差に引っ掛かり車椅子から転落したりで、数センチの段差に引っ掛かり車椅子から転落したりでありました。

り、日常の全てが戸惑うことばかり否に遭ったり、好奇の目で見られた通機関を利用しようとして乗車拒通機関を利用しようとして乗車拒った。身障者用駐車場はいまた、身障者用駐車場はい

らの気持ちの変化は

するようになりました。
を加ができているうれしさと、私にを加ができているうれしさと、私にで、前向きな気持ちになりました。また、仕事を重ねるうちに「車椅子モデル」としてではなく、「モデル」を急になりました。

して伝えたいことはモデルの活動やブログでの発信を通

誰かの気づきのきっかけになればを少しでも知ってもらい、社会に訴を少しでも知ってもらい、社会に訴をがけるきっかけにつながればいいます。当事者だからこそ気づけるこます。当事者だからこそ気づけるこます。当事者だからこそ気でので、それを別しても知ってほしいと思っているが、どんな活動をしているので発信しています。私の言葉が、とがたくさんあると思うので、それを少しで発信しています。私の言葉が、かいるか、どんな活動をしているのでいるか、どんな活動をしているのでいるが、とんな活動をしているのでは、

ユニバーサル社会の実現に向けて私味があると思っています。 味があると思っています。

たち一人ひとりができることはコニバーサル社会の実現に向けて

大事だと思います。
大事だと思います。そういったことがいると思います。そういったことを一人ひとりが自然と行うことがユニベると思います。そういったことを一人と思います。そして、それぞれの想いをしっかり声に出して発信し、それに一人ひとりが耳を傾けることががあった。

今後の抱負は

害のある人が当に共作のより前のように芸能活動に取り組める、その先がいった点でも、私自身が前面に出っいった点でも、私自身が前面に出っいった点でも、私自身が前面に出いいくことで、心、生活面のバリアフリーも広がっていくと思います。また、バリアフリー化が進んでいてもまだまりからどんどん外に出て行って、障害のある人が当



思っています。てい き た い とられる社会にしたり前に外に出

障害のある人を取り巻く現状

障害者差別解消法が施行されて

法、障害者虐待防止法の施行も含

抜本的な改正、障害者総合支援 年がたちました。障害者基本法



障害 のある人を取り巻く現状と課題 方向 性

泰 司 u さん

1

関西福祉大学社会福祉学部 教授

ければ差別ではない」という狭い考 すべきこととしては、「法に触れ をはせることではないでしょうか。 くその家族の状況等にも広く思い え方ではなく、また、本人だけでな

無関心という名の差別

と隔世の感があります。

備の状況は、一昔前の状況を考える め、障害のある人を支援する法整

にはその交差点を通る車全体から 事故が頻発していたとします。実際 を考えてみます。ある交差点で交通 一つの例として、交差点での事故



に向き合うかが喫緊の課題となっる人及び家族の高齢化にどのよう

ています。

や、県内各地でこのテーマについて

しては、「親亡き後」を憂えた事件 国各地で起きており、最近の傾向と

事例・差別事例は依然として全

方で、障害のある人に対する虐

話し合いが行われるなど、障害のあ

見れば僅かのはずですが、他の交差 点よりも事故の確率が高い場合に に目を向けようとします。 など、事故が起きやすい原因の解消 は、信号機の設置や一旦停止の表示

しょうか。 無関心という名の差別ではないで て放置されたりしています。これは になぜ」として、特殊なケースとし くの家庭ではそんなことはないの 方や資質の問題」とされたり、「多 く、ともすれば「個人の問題、考え 全装置を施すといった動きは少な 痛ましい事例に陥る原因に対し、安 、高齢者や子どもの領域を含め、 一方で、障害のある人だけに限ら

誰もがかけがえのない存在として

因があるとして安全装置を検討す りません。一方では環境(社会)に原 るのに対し、一方では依然として個 道路と人の問題、何も違いはあ

もあ

りません。私たちがまず意識

ての差別を対象としているわけで

差別等は含まれておらず、また、全

障害のある人であり、家族に対する

障害者差別解消法の対象は現に

人の問題、自己責任論として片付

けられています。この無関心という

差別が続く中で、本人及び家族

高齢化は進んでいます。

ます。 られるのか、このことを地域ぐるみ で語り合う時代が来ていると思い としてどのような安全装置を備え ない存在です。差別に関して、社会 私たち一人ひとりはかけがえ 0



Profile 1962(昭和37)年生まれ。京都大学経 済学部卒業、立命館大学大学院修士課 程修了(社会学修士)。専門は障害者福 福祉行財政。主に高齢障害者に関す る生活支援、潜在的要支援者の支援に する研究・活動に携わる。主な論文に 者の地域生活移行支援にかかる 実態」など。



障害者が安心して暮らすための

まいの確保

社会リハビリテーション学科 教授 神戸学院大学

佐紀



施設から在宅での生活へ

供しています。 の多くは親の家か施設で暮らして 増設など、多様な福祉サービスを提 障害者政策は、施設から在宅への移 せんでした。2002(平成14)年 要介助障害者は想定されてもいま 活していました。一人暮らしをする れない人や親のいない人は施設で生 害者の在宅生活支援として、長時間 行を重要施策に位置づけ、要介助障 いました。在宅障害者の介助のほと んどを親が担い、親の介助を受けら 介助 前世紀では、介助を要する障害者 者派遣やグループホームの

しかし、現在まで、施設入所者数 みられません。施 ら一人で暮らす重 介助を利用しなが 設を退所して、 にほとんど変化は サービスによる

> く、特に65歳以下の知的障害者にお を待機している人も多くいます。一 設に新たに入居する人が多く、入居 度障害者は増えました。しかし、施 いては、7・5%にあたります。 方、依然として親と同居する人は多

住まいの確保の困難さ

供されても、住まいが確保できなけ あります。多様な福祉サービスが提

びれもしません。ところが健常者たち

食べ物がこぼれようが意に介さず悪 り、食事の介助中にフィリップの服に も自分の方が不幸だという確信があ タンのペントハウスに暮らす富豪より 妻子にも見放されたデルは、マンハッ す。黒人で前科あり、家も仕事もなく

れば、障害者は在宅生活を送ること

開いていきます。

フィリップと生

フィリップは、そんなデルにこそ心を の憐れみを何より疎ましく思っていた

を促進してきました。現在、6割以 上が持ち家に暮らしています。 日本の住宅政策は、持ち家の所有

はできません。

アフリー未整備です。また、日本賃 く、その7割以上は1990年以前 われてきました。しかし、公営住宅 貸住宅管理協会の調査に対して、家 営住宅の2倍以上高く、多くがバリ が暮らす民間賃貸住宅は、家賃が公 分です。公営住宅に入居できない人 の建設で、バリアフリー整備は不十 数は少なく、全住宅の3.%しかな 対して、公営住宅への入居支援が行 持ち家を所有できない障害者に

Profile

神戸大学大学院工学研究科修了。-築士。建築設計事務所、兵庫県立福祉の まちづくり工学研究所(現・福祉のまちづ くり研究所)を経て、2005(平成17)年よ わりながら研究を進めている。障害 ビスアカデミーの理事長も務める。

出て暮らすことができない実態が 主の7割が、障害者の入居に対して 保ができないために、施設や親元を する生活をしたくても住まいの確 拒否感があると回答しています。 このような状況で、障害者は希望

ち、経験も技能もないデルに出会いま

生措置を行わない」介護士を探すう 殺願望のあるフィリップは密かに「蘇 プと、介護士として雇われたデル。自

社会全体の課題として

具体的な支援が必要です。 補助と質の向上など賃貸住宅への 営住宅の増設、民間賃貸住宅の家賃 の確保が困難な人は増えています。 非正規雇用者、被災者など、住まい けの問題ではありません。高齢者や まいの確保はきわめて重要です。公 めに、生活の基盤となる安定した住 これら住まいの問題は、障害者だ すべての人が安心して暮らすた

きずな映画館

派遣を行うNPO法人ユニバーサル

最強のふたり

THEUPSI

ドでリメイクされました。

首から下が麻痺した大富豪フィリッ

ランス映画『最強のふたり』がハリウッ

2011(平成2)年の大ヒットフ

直し、自己憐憫をの自分を見つめ のではないでしょ るものはない。 る』こと以上に 幸だと決めつけ きます。、人を不 を身につけて 乗り越え、周囲の で、デルも今まで 活を共にする中 人々への思いやり "人を不幸にす 監督:ニール・バーガー 2019年アメリカ映画、



125分 12月20日から お問い合わせは 078(334)2126

©2019 STX Financing, LLC. All Rights Re: 配給:ショウゲート 配給協力:イオンエンターテイメント



通

須磨ユニバーサルビーチプロジェ て考える『権利』と『責任』

NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 代表 さん

みんなの「できない」を「できた!」 に変える

ビーチプロジェクト(須磨UBP) の合言葉です。 これは、我々須磨ユニバーサル

も行ってきました。 磨ビーチを飛び出し、六甲山牧場で チマットと水陸両用車イスをフル 家さんと一緒に様々な農業イベント 山遊びや、神戸市内・兵庫県内の農 楽しんでいます。また、夏以外は須 活用し、障がいに関係なく海水浴を 2017 (平成2)年夏からビー

を利用し、友達と一緒に海水浴を楽 しんだ経験でした。 ビーチに敷かれていたビーチマット アヘリハビリ留学に行った際、現地 原点は、約3年前にオーストラリ

精神が満たされた時、こんなにも人 持ちは人間の心の奥底に誰もが抱 いているものです。そのチャレンジ 「何かに挑戦したい!」という気

> リクエストされたものが多いです。 えるようになりました。 することは、障がい者の権利だと考 いに関係なく挑戦する機会を選択 水浴という目標を達成した方から 導いてくれます。実際、企画したイベ 小さな成功体験が、次なる挑戦へと 激したのがきっかけでした。一つの は自信や勇気を得られるのかと、感 ントの多くは、須磨ビーチに来て海 須磨UBPの活動を通して、障が

もう一つの合言葉

ます。 最初に、この言葉を必ず説明してい いことはやろうとする」。イベントの 「できることは自分でやる。できな 大切な合言葉があります。それは、 我々のプロジェクトにはもう一つ

て語るべきだと考えています。これ き、必ず、『障がい者の責任』を併せ 僕は、『障がい者の権利』を語ると

> しょうか? セットで語らなければいけません。 れることです。だからこそ、必ず は、自身が障がい者だからこそ、語 では、障がい者の責任とは、何で

起こります。 よく須磨ビーチでこんなことが

スで海水浴ができるようになった。 をしたいと考えています。 す。(もちろん、建設的な意見には耳 マットの重なりがあぶない、タワミ すると、着替える更衣室は無いの 行けるようになった。水陸両用車イ を傾け、可能な範囲で実現する努力 が気になる。次々と要望が出てきま か、ベッドは無いのか。挙句、ビーチ ビーチマットを敷いて車イスでも

る、そんなシーンに遭遇します。 ることすら周りにやってもらってい とも多く、いつの間にか、自分ででき て、自身でチャレンジしていないこ でも、要求が先に立つ方は得てし

います。 らも全力でサポートしたいと思って 戦する。それでもできなければ、僕 でやる。できないことはやろうと挑

まずは、自分のできることは自

なっていくと、そう信じています。 動を続けていく。そうすれば、障が い者と健常者の心のバリアは無く 二つの合言葉を両方大切にし、 活





Profile

1986(昭和61)年神戸生まれ。2015(平成27)年4月、 通事故による胸椎損傷から下半身が完全麻痺。再 く」ためにリハビリを開始。退院後、「歩く」ための ビリを求めアメリカ・オーストラリアへ渡り、自らの \ビリとともに、日本の脊髄損傷患者の生き方の選 を拡大するために活動。帰国後、NPO法人 バーサルビーチプロジェクトを設立。代表として、 みんなで一緒に楽しめるユニバ チの実現に取り組む。

https://sumauniversalbeach.com/



齢にもかかわらず、必死の思いで、

※オンライン写真展(検索:「拉致被害者 家族の肖像」で参照)で

拉致問題の真実がご覧になれます。

さんのご両親は90歳を超えたご高 者と確認されています。有本恵子

帰国を果たし、「拉致」という犯罪が実際に存 兵庫県出身の有本恵子さん 2002(平成14)年に5名の拉致被害者が

者救出は進展がありません。 在していたという事実が人々の前に示されま した。しかしながら、誠に残念ですが拉致被害 実さん、有本恵子さんが拉致被害 兵庫県では、神戸市出身の田中

ずな

解決に向けて

拉

これまでの推移

題や政治問題について学ぶ活 1996(平成8)年夏、 、数名の有志と共に時事問 当

害者救出の支援者が全国より参集し、『日本 げました。また普及活動の一環として、拉致被 半疑だったのですが、直接拉致被害者家族の ブルーリボンの会』を結成したのが2009 兵庫県では、私たちが「救う会兵庫」を立ち上 確信しました。被害者家族会の発足を受けて、 い込みました。最初は拉致問題について半信 方のお話を伺い、「これは重大な問題だ!」と をしていた私に、「日本人拉致」の情報が舞

ている事です。※ が届きました。ここで皆さんに知って頂きた 面会し、その後大統領から直筆の激励の手紙 されています。先日も自らトランプ大統領と 日突然拉致されて理不尽な犯罪に巻き込まれ いのは、本当にごく普通の家庭の家族が、ある 日でも早く取り戻すことを願って日々活動 大步

解決に向けた取り組み

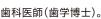
題について理解してもらうことを主に活動し という思いから、一人でも多くの皆様に拉致問 としての対策はなぜか遅々として進みません。 ています。 とりの思いです。当会は、「国民の力で解決を」 までいることです。拉致被害者救出について、 わらず、拉致被害者が、現在も過酷な環境のま いて、間違いなく国家による犯罪であるにも関 しかし国を動かすのは私たち国民の一人ひ 疑問に思うのは犯人(北朝鮮国家)が分かって

(平成21)年、今年で丸10年になります。

活動を行ったりしています。今後も拉致問題 したり、講演会の開催、その他ネットでの啓発 「救う会兵庫」主体の街頭活動や署名運動を ざして取り組みを続けます。 一日も早い解決と拉致被害者の方の帰国を

私たちは、ほぼ毎月、神戸市の三宮駅前で

Profile



「救う会兵庫(平成7年設立)」の結成に関わる。

2009(平成21)年『日本ブルーリボンの会』を設立し、代表として 全国各地の支援と共に今日まで草の根の救出支援活動を継続中。 日本ブルーリボンの会

http://www.nippon-blueribbon.org/

大矢代表(左端)と有本さんご夫妻

本作品は、1977(昭和52)年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に 北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描 いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

このアニメは、漫画「めぐみ」(原作・監修:横田滋・早紀江、作画:本そういち、出版社:双葉社)を モチーフとして制作されました。



当協会でも貸し出しをしているほか、全国のレンタルビデオ店でも借りられ ます。また、コピーフリーのため、動画ファイルを無料でダウンロードできます。

- 政府拉致問題対策本部 検索 http://www.rachi.go.jp
- https://www.rachi.go.jp/jp/megumi/gaiyou.html



般社団法人日本ブルーリボンの会 代表理事





県警からのお知らせ

兵庫県警察では、北朝鮮による「拉致被害者」の有本恵子さんと田中実さんに関す る情報や、「拉致の可能性を排除できない行方不明者」の方々に関する情報提供を求 めています。

お心当たりのある方は、兵庫県警察本部外事課まで情報をお寄せください。 皆様のご協力をお願いします。

詳しくは、兵庫県警察ホームページをご覧ください。

兵庫県警察本部外事課

代表電話 TEL 078(341)7441 兵庫県警察拉致問題











 T_{igers}

わたしたちも 「人権文化をすすめる県民運動 |を 応援しています!





イベント名 阪神・淡路大震災25年記念事業/第19回知の創造シリーズフォーラム 兵庫県立大学フォーラム「人を守る減災の科学」

12月12日(木) 13:30~16:30 日時

兵庫県公館 大会議室※地下鉄「県庁前」駅おりてすぐ

第1部 研究成果報告「人を守る減災の科学」

第2部 鼎談「阪神・淡路大震災の体験は社会や科学に何をもたらしたか」 兵庫県立大学理事長 五百旗頭 真氏 兵庫県立大学名誉教授、高知県立大学名誉教授 南裕子氏 兵庫県立大学減災復興政策研究科長 室崎 益輝氏

※参加費無料 ※定員200名(先着申込順) ※電話・FAX・E-mailいずれかによる申込 ※HP参照 https://www.u-hyogo.ac.jp/topics/event/31/20191212/index.html

兵庫県立大学事務局 社会貢献部地域貢献課

TEL 078 (794) 6653 FAX 078 (794) 5575 E-mail chiikikouken@ofc.u-hyogo.ac.jp

※その他のイベント情報は、当協会ホームページ「研修会・イベント情報」をご覧ください。

ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」(毎週火曜日10:00~13:00)で、 12:35頃から「きずな」の記事等を紹介しています。

HALF TIME/



みなさんは、「ヘルプマーク」をご存じですか? 「ヘルプマーク」とは、義足や人工関節を使用して いる方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方 など、援助や配慮を必要とする方が周囲の方に配 慮の必要性を知らせることで、援助を得やすくする ためのマークです。最近電車や街中でこのマークを よく目にするようになりました。「ヘルプマーク」を 使用される方は、外見ではどのような障害や難病 を抱えておられるのか、周囲の者にはわかりませ

ん。たとえ見えなくても、その方の困っている点に 気を配り、目を配ることで、声をかける、手を差し 伸べるといった行動ができると思います。

障害の有無に限らず、困っている方に対して、 思いやりある行動や言葉が表れるような、あたた

かい社会づくりをめざして いきたいです。(西村)





「きずな」は、当協会ホームページからも ご覧になれます。

兵庫県人権啓発協会



